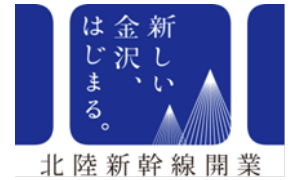


小立野、崎浦、田上 校下(地区)



# ともに考えよう まちづくりミーティング

平成27年10月3日(土) 18時30分から  
於 小立野公民館 3階ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。  
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

～ 開会前、市政紹介動画の放映 ～

金沢マラソン	(平成 27 年 1 月)
金沢を味わう、映像で	(平成 27 年 4 月)
金沢の夜景	(平成 25 年 2 月)

今回放映しました、市政  
紹介動画は金沢市のHP  
“いいね金沢”  
でご覧になれます。

- (1) 市長あいさつ
- (2) 地域代表あいさつ
- (3) 進行の説明等
- (4) 地域課題の説明
- (5) 課題に対する市の方針等の説明
- (6) 討議
- (7) 共通課題について討議
- (8) 市長 まとめ など

※恐れ入りますが、アンケートにご協力ください。

お帰りの際に、用紙をアンケート箱にお入れください。

金沢市広報広聴課 TEL 220-2348 FAX 220-2030

平成27年度第3回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	小立野町会連合会
課題	住み続けたい、小立野を目指し
課題の内容	<p>2世代、3世代の家族が同居や近くに暮らし、高齢者と共に若年層が住み、安心して暮らせる街。</p> <p>その為には、活性化した商店街。利便性の良い交通網構築。文教地区として培った教育環境。充実した医療機関。自然災害の恐れが少ない地域性等々の優位性を生かし、特に美大移転後の跡地の活用で、優良住宅地の提供。複合施設の建設。屋内スポーツ場や公園緑地の整備を要望します。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美大跡地を住宅地として開発し、公園や緑地を備えたコミュニティーホールの整備の検討。</li> <li>・コミュニティバスの路線整備と拡大。(小立野1丁目付近まで延長)</li> </ul>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美大の移転は旧工学部の跡地整備にも絡んできます。旧工学部の跡地整備については、崎浦地区と共同歩調を取って臨む方針ですが、山側環状道路からのアクセス道路の整備に期待します。</li> <li>・天徳院をはじめとした4ヶ寺を観光資源として活かし、観光客をもっと呼び込む方策。</li> </ul>

## 提出課題についての市の方針等 1 - (1)

課 題	住み続けたい、小立野を目指し
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	美大跡地を住宅地として開発し、公園や緑地を備えたコミュニティホールの整備を検討してほしい（優良住宅地の提供、複合施設の建設、屋内スポーツ場等を要望）
市の方針等	<p>金沢美術工芸大学は、手狭で老朽化が進んでいることから、金沢大学工学部跡地への移転を検討しており、現在は、金沢美術工芸大学においてキャンパス基本構想を策定しているところです。</p> <p>金沢美術工芸大学の跡地利用については、金沢大学工学部跡地への移転を検討する過程で解決すべき課題であると認識しており、その方向性は十年間の長期計画である重点戦略計画の中に位置付けるべき大きな課題です。</p> <p>金沢美術工芸大学の跡地利用にあたっては、地元をはじめ国や県などとの調整を図り、研究を進めていきたいと考えております。</p> <p>まずは金沢美術工芸大学の移転整備の検討を本格化させてまいります。</p>
担当課	企画調整課 <span style="float: right;">電話 220-2031</span>

## 提出課題についての市の方針等 1 - (2)

課 題	住み続けたい、小立野を目指し	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	美大の移転は旧工学部の跡地整備にも絡んできます。旧工学部の跡地整備については、崎浦地区と共同歩調を取って望む方針ですが、山側環状道路からのアクセス道路の整備に期待します。	
市の方針等	<p>山側環状道路からのアクセス道路としては、県道芝原石引線があるところですが、一方通行区間も一部にあり、課題があることは認識しています。</p> <p>このため、旧工学部跡地の活用について検討する中で、利便性の高いアクセス道路の整備についても、県と協議してまいります。</p>	
担当課	道路建設課	電話 220-2312

## 提出課題についての市の方針等 1 - (3)

課 題	住み続けたい、小立野を目指し	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	コミュニティバスの路線整備と拡大（小立野 1 丁目付近まで延長）	
市の方針等	<p>1 ふらっとバスは、中心市街地における公共交通不便地域の解消を目的とし、既存の路線バスと重複せず、渋滞の影響が少ない細街路を一周 4 5 分で運行することを原則としています。</p> <p>2 ご要望されているふらっとバス菊川ルート of 延長区間は、路線バスとの競合区間であり、また、ルートの延長に伴い一周 4 5 分の運行を確保するためには、既存ルートの一部削減が必要となり、現在利用されている方々の利便性の低下が懸念されることから、そういった方々の理解が必要であると考えています。</p> <p>3 なお、城東地区は、高等学校等の教育機関が集積し、市内でも路線バスが多く運行している比較的公共交通機関が便利な地区であることから、まずは既存の公共交通を活用していただくようお願いいたします。</p> <p>4 今後、金沢大学工学部跡地の利用などによる周辺の交通環境の変化に対応した路線バス等のあり方については、交通事業者及び地元の方々とも協議、研究してまいります。</p>	
担当課	歩ける環境推進課 交通政策課	電話 220-2371 電話 220-2038

提出課題についての市の方針等 1 - (4)

課 題	住み続けたい、小立野を目指し	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	天徳院をはじめとした4ヶ寺（天徳院、如来寺、宝円寺、経王寺）を観光資源として活かし、観光客をもっと呼び込む方策について	
市の方針等	<p>金沢の歴史と風情を感じることができる小立野台地の坂道を歩きながら、前田家ゆかりの寺社を巡る魅力ある観光コースとして、ご提案の4ヶ寺を含む小立野寺院群をエリアとする「いし曳（いしびき）の道」のマップを作成し、駅の観光案内所等で配布しています。</p> <p>この「いし曳きの道」は、鈴木大拙館や兼六園、金沢城を訪れた観光客にもう少し足を伸ばしてもらい、金沢の奥深さを感じて再訪も促すコースであり、新たに、市観光協会ホームページのモデルコース「加賀百万石前田家の史跡めぐり」に追加掲示し、広く周知を図ってまいります。</p> <p>加えて、金沢歴史遺産探訪月間として、今月25日には、「小立野台前田家ゆかりの寺院石造物探訪」を開催することとしており、このほか、地元の皆様に開催する、寺社と工芸作家、学生等がコラボしアートを発信する「オテラート金澤」や、お寺での悩み相談を聴くカフェ、講演会など、市民をはじめ観光客にも魅力的な行事が多くあることから、地元の皆様と協力し、適切な情報発信に努めてまいります。</p> <p>(参考：いし曳きの道の2ルート)</p> <p>① 源太郎川沿いを1時間で歩くルート 八坂近くの松山寺（しょうざんじ）～天徳院の2.3km</p> <p>② 勘太郎川沿いを1時間半で歩くルート 大乘寺坂近くの本行寺（ほんぎょうじ）～天徳院の2.6km</p>	
担当課	観光交流課 文化財保護課	電話 220-2206 電話 220-2469

提出課題一覧表 2

町会連合会名	崎 浦 地 区 町 会 連 合 会
課 題	地域の活性化と歴史遺産の活用
課題の内容	<p>金大工学部の角間移転で学生との交流がなくなったうえ、少子高齢化が進み町の賑い活性化が減退している。</p> <p>旧工学部跡地の利活用で金沢市は美大の移転、石川県は文教地区に相応しい施設を設置するとの報告を受けているが、先ず現況の狭隘な道路の改良と一方通行の解消を図り、山側環状線からアプローチを考える必要がある。</p> <p>併せて当該跡地前面を流れる国指定・日本三大用水「辰巳用水」を取り込んだ親水性と歴史遺産の活用。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>道路の改良計画 辰巳用水の周知と活用</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>学生と地域（町会）の交流、協働作業（町会・公民館行事参加） 辰巳用水愛護団体の結成で清掃作業など。</p>

## 提出課題についての市の方針等 2 - (1)

課 題	地域の活性化と歴史遺産の活用
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	現況の狭隘な道路の改良計画について
市の方針等	<p>当地域の小立野台地を通る幹線道路の主要地方道金沢湯涌福光線から、田上方面や大桑方面へのアクセスには高低差が大きく急峻である地形的な制約から、道路は斜面に沿って整備されて、一部道路幅員が十分でない箇所や一方通行の箇所があることは認識しています。</p> <p>また、地元町会からも、朝夕の通勤時間帯において交通渋滞が発生し、一方通行の関係で緊急車両がスムーズに通れないことがあったとお聞きしています。</p> <p>しかしながら、拡幅する場合、多数の住居移転が必要となることから、まずは、旧工学部跡地の活用について検討する中で、利便性の高いアクセス道路の整備についても、ご要望のことも勘案しながら、県と協議してまいります。</p>
担当課	道路建設課
	電話 220-2312



## 提出課題についての市の方針等 2 - (2)

課 題	地域の活性化と歴史遺産の活用
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辰巳用水の周知と活用（工学部跡地前の開渠部を親水空間として整備できないか）</li> <li>・辰巳用水愛護団体の結成による清掃作業の実施</li> </ul>
市の方針等	<p>辰巳用水土地改良区をはじめ小立野、崎浦地区の皆様には、日頃より辰巳用水の保護にご尽力いただき感謝しております。</p> <p>辰巳用水は、江戸時代の土木技術を現代に伝える貴重な歴史遺産であり、高い文化的価値を持つことから、平成22年2月に国史跡に指定され、平成25年3月には土清水塩硝蔵跡が追加指定されました。</p> <p>市では、保存管理計画に基づき、平成25年度から、順次整備工事を実施してきており、現在は、清浄ヶ滝周辺の補修工事を終える予定となり、今後も引き続き、辰巳用水の保全に努めてまいります。</p> <p>これまで、平成18年から市民を対象に辰巳用水探訪会を毎年開催しているほか、平成22年には、歴史的用水国際シンポジウム in 金沢を開催するなど、歴史遺産としての啓発に努めるとともに、説明板の設置やパンフレットの配付などを通じて、辰巳用水に関する情報を発信しています。</p> <p>地域の皆様には、辰巳用水の保護のために、これまでも多くのご苦勞をお願いしています。辰巳用水の愛護について、地元で協議する場が設けられるようでしたら、大変ありがたいこととあります。工学部跡地前親水空間の整備を含め、必要があれば、本市としても相談に乗らせていただきたいと思いますと考えております。</p>
担当課	文化財保護課
	電話 220-2469

## 提出課題についての市の方針等 2 - (3)

課 題	地域の活性化と歴史遺産の活用	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	学生と地域（町会）の交流、協働作業（町会・公民館行事参加）ができないか	
市の方針等	<p>金沢には、多くの学生団体が存在しており、それぞれの活動のほか、要請を受けて千木町や大桑団地では「祭りの運営」に携わったり、東原町や湯涌では住民と一緒に地域の活性化に取り組んだりしています。</p> <p>こうした学生団体の活動拠点である「金沢学生のまち市民交流館」には、地域と学生とをつなげるコーディネーターを配置していますので、ぜひご相談ください。</p> <p>また、各大学でも地域との連携を進めていますので、各大学の地域連携担当課にも、お問い合わせいただければと思います。</p>	
担当課	市民協働推進課	電話 220-2026

提出課題一覧表 3

町会連合会名	田上校下町会連合会
課題	「地域・町会と学生との共存・共生について」
課題の内容	<p>区画整理が進み、金沢市でも数少ない総人口が増加している地域。若い世代や子供たちが多く、金沢大学をはじめ多くの大学が集まる、学生が溢れる大学駅前町でもある。また、留学生も多く住み、国際色豊かな町でもある。一方で、若者が町から離れ、高齢化が進む町会も少なくない。そんな全ての属性が共存するのが田上・杜の里校下です。</p> <p>「学都金沢」「世界の交流拠点都市」「地域で子育て、地域で介護」「地域包括ケアシステムの実現」など、これから金沢市が目指していく方向性において、①若い世代 ②学生 ③外国人・留学生 ④高齢者 ⑤子供 全ての属性がうまく共存する町、協働するまちを目指していく必要があります。</p> <p>そこで、「町会」と「学生」に焦点をあて、お互いにどうやって関係性を築いていくか、地域の行事や活動にどう参加してもらうか、巻き込んでいくかを考えていきたいと思えます。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>(プラス面) 町に活気が溢れる、地元商店街が繁盛する。  (マイナス面) 卒業シーズンにおける粗大ゴミの不法投棄(町会が費用負担)</p> <p>友好的関係性を築いていくために、お互いに具体的な接点がほしい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>学生(アパート・マンション)の町会加入促進について  地域と学生・大学が協同で行う新たな「祭り」「文化祭」の創造・実施  金沢市が目指す「学都金沢」の在り方を理解し、当地域も方向性を共有する。</p>

## 提出課題についての市の方針等 3 - (1)

課 題	「地域・町会と学生との共存・共生について」	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	卒業シーズンにおける粗大ゴミの不法投棄の防止について	
市の方針等	<p>例年、引っ越しや卒業シーズンになると、ごみステーションへ違反ごみが排出されるケースの多いことは承知しております。</p> <p>本市では、こうした事態を防止するため、卒業シーズンには巡視パトロールを強化しておりますほか、学生の引っ越しごみを優先的に処理するよう対処しているところです。</p> <p>また、4月には、各大学を訪問し、新入生や留学生を対象にごみ出しルールの説明を行っているほか、アパートや賃貸住宅などにも外国語版を含めた「家庭ごみの分け方・出し方」パンフレットを配布し、ごみ出しマナー遵守について注意喚起しております。</p> <p>今後は、巡視パトロールの強化に加え、ごみステーションでの分別指導を充実してまいりますほか、卒業シーズンを前に、各大学において引っ越しごみ等の処理に関する説明会を開催することとしており、町会と学生が友好的な関係を維持していただけますよう、違反ごみの排出防止に向け一層努力してまいります。</p>	
担当課	リサイクル推進課	電話 2 2 0 - 2 3 0 2

## 提出課題についての市の方針等 3 - (2)

課 題	「地域・町会と学生との共存・共生について」
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生（アパート・マンション）の町会加入促進について</li> <li>・地域と学生・大学が協同で行う新たな「祭り」「文化祭」の創造・実施</li> <li>・金沢市が目指す「学都金沢」の在り方を理解し、当地域も方向性を共有</li> </ul>
市の方針等	<p><b>＜学生（アパート・マンション）の町会加入促進について＞</b>          現在、本市への転入届けをされた方に、町会加入を促すリーフレット（町会連合会とともに作成）を、暮らしの情報誌「かなざわ生活ページ」に折り込んで配布しています。今後は、リーフレットの改良や大学での転入受付時における呼びかけ、不動産業団体との連携を進めたいと思います。</p> <p><b>＜地域と学生・大学が協同で行う新たな「祭り」「文化祭」の創造・実施＞</b>          田上校下においては、金沢大学との交流を深め、活気と賑わいのある大学駅前町の形成を図ることを目的に、平成22年9月、本市と「学生のまち地域推進協定」を締結し、地域ぐるみで「学生のまちの推進」に取り組んでこられました。そして、毎年4月に「若松杜の里さくら祭り」が、地域の皆さんで組織される実行委員会を中心に、金沢大学の学生や留学生、また地域のNPO法人「クラブぽっと」の皆様など多数参加して、盛大に開催されていると伺っています。</p> <p>新たな祭りや文化祭についての地域と学生団体等との実施については、金沢学生のまち市民交流館コーディネーターにご相談のうえ、検討していただきたいと思います。</p> <p><b>＜金沢市が目指す「学都金沢」の在り方を理解し、当地域も方向性を共有＞</b>          本市では「金沢市における学生のまちの推進に関する条例」が規定するように「学生が市民と親しく交流し、地域活動等に取り組むことにより、学生とまちとの関係が深まり、にぎわいと活力が創出されるまち」を目指しています。</p> <p>「学生のまち金沢」の推進については、本市の出前講座である「かがやき発信講座」でも、職員が詳しく説明しますので、ぜひ、ご活用ください。</p>
担当課	市民協働推進課 <span style="float: right;">電話 220-2026</span>

提出課題一覧表 4

町会連合会名	小立野町会連合会
共通課題	若い世代の定住促進
意見、質問の内容	<p>国土交通省国土交通政策研究所の「国土交通政策研究 第117号 若年層、子育て世代等を含む多世代居住による地域コミュニティの形成に向けた世代間住み替えの円滑化に関する調査研究」(平成26年8月発行)によると、“本気度の高い住み替え検討者”が住み替え先を選ぶ際に最重視する点は、1位「生活しやすい立地条件」となっています。</p> <p>また、その「生活しやすい立地条件」として重視した点は、1位「食料品や日用品などの買い物のしやすさ」となっています。</p> <p>こうしたことから、金沢市は既に商業振興施策として「中心市街地出店促進事業」を進めていることは承知していますが、若い世代をはじめとする定住促進をより進めるためには、更なる空き店舗対策を検討していただく必要があると考えます。</p>

## 提出課題についての市の方針等 4 - (1)

課 題	若い世代の定住促進
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	若い世代をはじめとする定住促進をより進めるためには、さらなる空き店舗対策を検討していただく必要があると考えるがいかがか。
市の方針等	<p>1. 商店街の空き店舗対策としては、 「中心市街地出店促進事業」で、石引商店街振興組合の空き店舗の家賃助成をしており、これまで10店舗が出店しました。</p> <p>2. このほか、コミュニティビジネス推進事業として 石引商店街と連携した買い物支援として、 「合同会社ござれ市」が運営する「まかせまっし隊」への支援を実施しています。</p> <p>3. 加えて生鮮食料品を取り扱う商店の出店やリニューアルへの支援や、 商店街の後継者育成につながる若者の起業を 支援しているところです。</p> <p>4. 今後とも商店街と連携し、商店街の活性化のため、 これらの支援制度を活用していただきたいと思います。</p>
担当課	商業振興課
	電話 220-2193

提出課題一覧表 5

町会連合会名	崎 浦 地 区 町 会 連 合 会
共通課題	若い世代の定住促進
意見、質問の内容	<p>定住のパターンとしては、まず地元生まれの若者が定住することが大切であると考えています。</p> <p>・例えば千坂少連では少連祭が今年で28回開催と根付いており、地域内での各団体との繋がりが定期的に確立できている証。</p> <p>したがって、ある程度の箱物は必要でしょうが、それ以上に、地域愛を厚くすることが定住の根底として必要ではないでしょうか。</p> <p><b>【地域愛を厚くする】</b></p> <p>町会、老人会、婦人会、子供会（青年団）、市少連、生産組合、祭保存会、消防団、スポーツチーム、消防団などの縦組織が横に繋がっていく町づくり（親がよく参加している、という姿勢を子供に見せることが大切）</p> <p>→地域参加のムード、奉仕・共存共栄の心を育成する環境づくり</p>



## 提出課題についての市の方針等 5 - (1)

課 題	若い世代の定住促進																			
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	地域愛を厚くする →地域参加のムード、奉仕・共存共栄の心を育成する環境づくり																			
市の方針等	<p>本市では、「金沢子どもを育む行動計画2013」において、「金沢を愛する心」や「社会の一員としての責任感」を持つ子どもを育てることを基本理念としており、小中学校の児童・生徒を対象に、「ジュニアかなざわ検定」や「金沢ふるさと体験学習バスツアー」を実施するなど、子供たちが金沢の歴史や文化についての理解を深め、ふるさと金沢への愛着を深めることができるよう取り組んでいるところです。</p> <p>また、各地区の子ども会において行われている、伝統文化や自然体験、環境活動といった、子どもを中心とした様々な世代間における交流活動に対しても支援を行っています。</p> <p>また、学生と市民との交流活動や地域のまちづくり活動をいかに推進するかなど、様々な相談については、金沢学生のまち市民交流館のコーディネーターが随時、受け付けています。ぜひ、ご来館のうえ、ご相談いただければと思います。</p> <p>なお、今年度から、地域課題の解決や、協働によるまちづくり活動を促進する人材として、「かなざわコミュニティ・コーディネーター」の育成を始めました。</p> <p>将来的には、各校下に受講修了者が配置され、地域の活性化に寄与する存在となることを期待しています。</p> <p>今年度の募集は終了しましたが、ぜひ参考に、9月からの講座を見学参加いただければと思います。</p> <p><b>【参考】協働のまちづくりファシリテーター講座</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">金沢学生のまち市民交流館 交流ホール</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">第1回</td> <td style="width: 30%;">7月4日(土)【終了】</td> <td style="width: 60%;">地域の問題を地域で考える仕組み</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>9月26日(土)【終了】</td> <td>主体性を引き出す会議ファシリテーション</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10月31日(土)</td> <td>市民活動について</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>12月19日(土)</td> <td>コミュニケーション研修、問題解決の手法</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>1月23日(土)</td> <td>まちづくりの対話の場「サロン」の実践</td> </tr> </table>		金沢学生のまち市民交流館 交流ホール			第1回	7月4日(土)【終了】	地域の問題を地域で考える仕組み	第2回	9月26日(土)【終了】	主体性を引き出す会議ファシリテーション	第3回	10月31日(土)	市民活動について	第4回	12月19日(土)	コミュニケーション研修、問題解決の手法	第5回	1月23日(土)	まちづくりの対話の場「サロン」の実践
金沢学生のまち市民交流館 交流ホール																				
第1回	7月4日(土)【終了】	地域の問題を地域で考える仕組み																		
第2回	9月26日(土)【終了】	主体性を引き出す会議ファシリテーション																		
第3回	10月31日(土)	市民活動について																		
第4回	12月19日(土)	コミュニケーション研修、問題解決の手法																		
第5回	1月23日(土)	まちづくりの対話の場「サロン」の実践																		
担当課	市民協働推進課 生涯学習課	電話 220-2026 電話 220-2441																		

提出課題一覧表 6

町会連合会名	田上校下町会連合会
共通課題	若い世代の定住促進
意見、質問の内容	<p>車での生活が当たり前になった昨今、金沢市内ではどの地域でも病院、学校、ショッピングセンターなどの生活にかかわる部分において不自由な場所はなくなってきていると思います。</p> <p>そのため、住居を選ぶ際には、職場へのアクセスや車での移動のしやすさ、住宅事情（地価や家賃など）で選択していると思います。</p> <p>よって、金沢では、車での生活が常態化していることを踏まえすと、一番重要なのは「住居を構えられる環境」だと思います。</p> <p>つまり、所得、地価、実家の援助、土地を所有などの経済面や、新築、中古、マンション、アパート等の選択肢の幅といったものが住居を構えるにあたって大切な要素だと思います。</p> <p>もちろん、これらすべてに金沢市が関与するわけではありませんが、少なくとも所得が決して多くない若い世代に対して、経済面での支援が必要だと思います。</p>

提出課題についての市の方針等 6 - (1)

課 題	若い世代の定住促進
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	所得が決して多くない若い世代の住宅取得に対して、経済面における市からの支援が必要だと思う。
市の方針等	<p>金沢市では、定住促進を図るため、地区計画を定めるなど良好なまちづくりを実践している郊外部の地区において、45歳未満の若年者の方が住宅ローンにて戸建て住宅を新築し、又は購入する場合に助成を行っているほか、環境に配慮した住宅（スマートハウス）が集積したスマートタウンで、住宅ローンにてスマートハウスを新築し、又は購入する場合に助成を行っています。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">[</span>             *助成の対象となる郊外部の地区（市内56地区）              田上校下…若松・鈴見地区、田上第五地区、田上本町地区              太陽が丘西部地区、太陽が丘東部地区              崎浦地区…大桑第三地区、ウッドパーク小立野地区             <span style="font-size: 2em;">]</span> </p> <p>また、まちなか区域においては、住宅ローンにて、戸建て住宅を新築し、又は購入する場合や新築分譲マンションを購入する場合に助成を行っています。また、「金沢まちなか住宅再生バンク」（<a href="http://www.kanazawa-sumai.net/saisei/">www.kanazawa-sumai.net/saisei/</a>）では、まちなか区域の空き地、空き家、空き住戸（中古分譲マンション）の情報を、売買、賃貸希望者に対して提供しており、バンクに掲載された空き家や中古分譲マンションを購入して内部改修をされる方については、その工事費に対して助成を行っています。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">[</span>             *まちなか区域              小立野町会連合会の区域のうち、中環状線の西側が該当             <span style="font-size: 2em;">]</span> </p> <p>特に若い世代については、別紙「定住支援制度等の一覧」にあるとおり、45歳未満の若年者世帯、多子世帯やUJIターン世帯に対する加算を設けるなど、その住宅取得を応援しています。</p>
担当課	住宅政策課 <span style="float: right;">電話 220-2136</span>

## 定住支援制度等の一覧(平成27年度)

区域	用途	制度名	区分		助成率	限度額	
まちなか	戸建住宅	まちなか住宅建築奨励金	基本部分	一般住宅	借入金の10%	200万円	
				二世帯住宅		300万円	
		加算部分	駐車場等活用	借入金の1.5%	30万円	限度額 100万円	
			45歳未満	借入金の2.5%	50万円		
			多子世帯	借入金の1.0%	20万円		
			UJIターン世帯	借入金の1.0%	20万円		
	まちなか空家活用促進補助金	基本部分	内部改修費	内部改修費 の1/2	50万円		
					加算部分	45歳未満	50万円
	UJIターン世帯	20万円					
	共同住宅	まちなかマンション購入奨励金	基本部分		借入金の5.0%	100万円	
				加算部分	45歳未満	借入金の2.5%	50万円
		UJIターン世帯	借入金の1.0%	20万円			
まちなか中古分譲 マンション改修費補助金		基本部分	内部改修費	内部改修費 の1/2	25万円		
	加算部分				45歳未満	25万円	限度額 25万円
UJIターン世帯	20万円						
住宅地整備	まちなか住宅団地整備費 補助金	500㎡以上 住宅地整備	道路等用地費	補助率1/2	—		
			道路等工事費		—		
			老朽建築物除去費		—		
	まちなか低未利用地 活用促進事業補助金	500㎡未満 住宅地整備	隅切用地費	補助率10/10	—		
			道路工事費	補助率10/10	—		
			老朽建築物除去費	補助率1/2	—		
まちなか空地活用促進奨励金			譲渡所得金額 相当分の3%	30万円			
郊外	戸建住宅	いい街金沢住まいづくり奨励金	基本部分	45歳未満	借入金の2.5%	50万円	
				加算部分	多子世帯	借入金の1.0%	20万円
					UJIターン世帯	借入金の1.0%	20万円
認定 スマート タウン	戸建住宅	金沢スマートハウス奨励金	基本部分		借入金の5.0%	100万円	
				加算部分	45歳未満	借入金の2.5%	50万円
					UJIターン世帯	借入金の1.0%	20万円
事業 対象 区域	町家	金澤町家再生活用事業補助金 ※昭和25年以前に建築された金澤町家	改修工事等		工事費の1/2	150万円 (店舗等は250万円)	
			防災構造補強			250万円	
			加算部分	UJIターン世帯		20万円	

[お問い合わせ先] 住宅政策課 TEL: 220-2136

(金澤町家再生活用事業補助金については、町家保全活用室 TEL: 220-2311)